

38 開成学校官費生へ給付金渡方の件申進

〔明治六年十二月十六日〕

当校官費新選生保志虎吉外九十七人当十一月分官費金御渡有之
度段過日申進置候処右ハ去月中旬官費生申付候得共官費金日割
ニテ御渡相成候得ハ計算上錯雜いたし候而已ならず衣服帽靴其
他諸物品一切新規支給イタシ費用相嵩ミ候ニ付而ハ元給貸生之
振合ヲ以全月分御渡有之度此段申進候也

明治六年十二月十六日

開成学校

田中弘義

伴 正順

本省

辻 新次殿

内村良造殿

〔朱書〕
〔書面之趣官費生申渡候当日ヨリ日割ヲ以テ費用金可下渡候事〕

〔朱書〕
〔明治六年十二月十七日〕 印

〔文部省往復〕明治六年甲、㊦A5〕